

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第39週	第38週	第39週		第38週		第39週		第38週		第39週		第38週		第39週		第38週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	4	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	54	6	0	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	4	0	2	0
感染性胃腸炎	62	53	9	7	8	15	9	0	7	7	0	1	0	5	0	6	1	3
水痘	5	6	3	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	4	0	0
手足口病	232	288	48	16	53	24	30	6	30	12	0	7	0	5	18	3	23	7
伝染性紅斑	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	32	31	3	0	6	0	2	0	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0
百日咳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	18	25	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
流行性耳下腺炎	37	28	11	10	9	12	1	0	0	2	0	1	0	0	10	9	9	10
RSウイルス感染症	125	119	9	0	9	1	8	0	5	0	0	0	0	1	1	0	4	0
急性出血性結膜炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		0
流行性角結膜炎	14	8	0	0	0	1	0	0	0	1		0		0		0		0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況
〈県中地域で手足口病の流行が続いています〉
 県中地域で、手足口病の流行が続いています。手足口病は頬の内側や舌、手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行します。乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは、集団感染が起こりやすいため特に注意が必要です。
 一般的な感染対策は、流水と石鹸でしっかりと手洗いをする、排泄物を適切に処理すること等です。手足口病は症状が見られなくなった後も、2~4週間にわたり、便などからウイルスが排泄されるため、注意してください。

秋~初冬は「つつが虫病」に注意！

福島県は全国有数のつつが虫病の多発地域です。春~初夏（4~6月）と秋~初冬（10~12月）に患者発生ピークがあり、県内の様々な地域で患者が報告されています。

つつが虫病とは

- つつが虫病は、リケッチアという病原体を持っているツツガムシに刺咬されることで感染します。
- 潜伏期は5~14日で、典型的な症例では39℃以上の高熱を伴って発症します。皮膚には特徴的なダニの刺し口がみられ、その後数日で体幹部を中心に発疹がみられるようになります。
- 発熱、刺し口、発疹は主要3徴候とよばれ、およそ90%以上の患者にみられます。また、患者の多くは倦怠感、頭痛を訴え、患者の半数にはリンパ節の腫脹がみられます。

ツツガムシの主な生息場所

- ①田畑
- ②山林
- ③河川敷
- ④草原

農作業や山菜採り、ハイキング、魚釣りなどで、このような場所に立ち入る場合には十分な注意が必要です

感染を予防するには

- ① 田畑・山林・河川敷などでは、長袖・長ズボンを着用し、できるだけ素肌を出さないようにしましょう。
- ② 田畑・山林・河川敷などから帰宅した後は、速やかに身体を洗い流し、着替えを行いましょう。
- ③ 衣類を草むらに置いたり、草むらに腰を下ろしたり、寝転んだりしないようにしましょう。

詳しくは、国立感染症研究所HPをご覧ください
<https://www.niid/ja/diseases/ta/tsutsugamushi.html>

